

学校教育目標 未来に向かって力強く生きる ひとみ輝く 和土っ子の育成

～ やさしい子:やさしいっばい かしい子:かっばい たくましい子:やる気っばい ～



和土小だより

さいたま市立和土小学校

令和7年10月1日(水)

10月号

〒339-0033 さいたま市岩槻区黒谷1353番地 TEL048-798-0208 / FAX048-798-8730

学校Webページ: <https://wado-e.saitama-city.ed.jp/> Eメール: wado-e@saitama-city.ed.jp

児童数 148名

心躍る秋

～花笑みテーマ「和」(パートナーシップ)～

校長 中野尾 奈都江

和土小の正面玄関には、赤いハイビスカスの花が鮮やかに咲いています。ハイビスカスは、夏のイメージがありますが、暑さが落ち着いた9月ごろから10月にかけて再び咲き始め、晩秋まで楽しむことができ、和土小の玄関を彩ってくれています。赤いハイビスカスの花言葉は、「勇敢」(情熱的でエネルギッシュ、勇気ある行動)や「常に新しい美しさ」(一日で新しい花が次々と咲く様子)だそうです。

9月23日(火)の秋分の日を境に、暑さが次第にやわらぎ、朝晩は過ごしやすくなってきています。秋は、運動をしたり、勉強をしたり、読書をしたりするのにちょうどよい季節です。

和土小では、10月から11月にかけて、「体カアップキャンペーン」を実施します。9月までの暑い時期は、暑さ指数(WBGT)が高く、子ども達は校庭でなかなか遊べませんでした。涼しくなった校庭で、子ども達が楽しみながら、進んで体力向上に努める態度を養うことがねらいです。運動委員会が中心となって、昼休みにバスケットボールゲームを企画します。また、運動委員会作成の「運動頑張りカード」に全校で取り組み、鉄棒や鬼ごっこ、マラソンにチャレンジします。今年度は、目白大学の保健医療学部理学療法学科のご協力のもと、「音楽にあわせて友達と楽しく身体を動かそう!」というプチ講座も4回開催する予定です。また、同大学の保健医療学部作業療法学科の先生方には、本校の特別支援教育を支援していただき、4月から毎月訪問していただいております。地域の大学と「和」(パートナーシップ)でつながるといことは、本校の「花笑み教育」のテーマであり、とても有難く感じております。

また、城南中学校との「和」(パートナーシップ)の取組として、9月24日(水)に、放課後チャレンジスクールで、城南中野球部による野球体験教室が開催されました。城南中野球部の生徒が、ユニフォームを着て本校校庭に来校しました。基本のキャッチボールからバッティングの練習まで、中学生が優しく教えてくれました。「バッチリだよ!」「上手だね」「大丈夫」「すごい!」と、大きく明るい声で、小学生を励ましている中学生の姿に感動しました。遊びながら、楽しみながらの異年齢交流の機会を通して、「野球って面白い」「ほめられて嬉しい」と、子ども達は笑顔で汗びっしょりになって動いていました。

さいたま市の「チャレンジスクール推進事業」は、土曜日や放課後等に学校の教室等を活用して、より多くのより幅広い層の地域住民、団体等の参画を得て、地域と学校が連携・協働して、子どもたちの自主的な学習やスポーツ、文化活動、地域住民との交流活動等の多様な活動を実施することにより、地域社会の中で、子どもたちを心豊かで健やかにはぐくむことを目的として実施しています。和土小チャレンジスクールは、「おとぎの会」に読み聞かせをしていただいたり、モルック、シッティングバレーなどのスポーツレクをしたり、版画作成や絵手紙作りなどを行っています。地域の方々や、大学生のボランティアスタッフ、保護者の皆様に支えられているからこそ、子ども達が色々な楽しい体験活動をすることができます。和土小のよきは、「地域共生」に向けた取組が充実していることだと思っております。今後も、「地域とともに歩む学校」として、教育活動を進めていきます。



正面玄関のハイビスカス